

新しい避難様式

—その行動が誰かの助けに—



災害は、地域の支え合いや協力なしには乗り越えられません。その形はさまざまですが、今回は避難の方法を変えることで、お互いを感染リスクから守る方法について考えてみましょう。

今回のテーマ



逃げ方をかえる



かえるくん
避難のポイントを
教えてくれるよ



Case 1

住み慣れた自宅が私の避難所

私たちの住む階は、洪水が起きても浸水する心配がないから、むやみに外に出ないで家で過ごす準備をしています。



自宅に留まれるかどうかはハザードマップで確認したよ



停電した時に備えて、生活に必要なものを普段から多めに用意をしているよ

- 水(1人1日3リットル)
- 食料 ●カセットコンロ
- 携帯トイレ
- 懐中電灯 など



ハザードマップ

自然災害が発生した場合に、被害が想定されるエリアや避難する場所などを示した地図



住んでいる場所の浸水深を必ず確認しておこう



インターネットで確認するときは「ガイドマップかわさき」

！
避難のヒント

避難とは「難」を「避」けること

身の安全が確保できるときは慌てて避難をする必要はないよ



Case 2

できる限り、過ごしやすい場所へ

私たちの住む家は、浸水する可能性があるから避難が必要なんだ。小さい子どもと一緒に安全な地域に住む姉家族の家に避難する予定だよ。



特に
気をつけて
いるのが
2つ



①持ち出し品の用意



家族に合わせた
備えをしよう

②余裕をもって早めの行動



台風の前日に
避難するね
姉家族の家

！
避難のヒント

家族の状況に合わせた準備や避難先を考えておこう

前もって安全が確保できる場所を見つけられるといいね



Case 3

必要な時は、迷わず避難所へ

私たちの住んでいる場所は、浸水する可能性があるから、日頃から避難ルートを確認しているんだ。お隣さんにも声をかけて避難するよ。



持っていくものを
早めに用意しよう



避難の時は
動きやすい服に
着替えよう

運動靴、リュック、杖



お隣さんに声掛け

警戒レベル3…



避難に時間がかかる方は
早めに行動しよう

！
避難のヒント

市が発表する避難に関する情報

- 警戒レベル5 災害発生情報 → 命を守るための最善の行動を
- 警戒レベル4 避難勧告/避難指示(緊急) → 危険な場所から速やかに避難
- 警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始

